



一般社団法人 日本インラインスケート協会



© WORLD SKATE

# SKATE CROSS GENERAL REGULATIONS 2026

UPDATE: NOVEMBER 2025

1. 導入と定義	9
1.1. 序文	9
1.2. 定義	9
1.2.1. スケートクロス	9
1.2.2. チームクロス	9
1.2.3. トラック	9
2. ワーキンググループ	10
2.1. 会則	10
2.2. 任務	10
2.3. 詳細な役割と責任	11
2.3.1. スケートクロスマネージャー	11
2.3.1.1. ワールドスケート連絡役	11
2.3.1.2. ワーキンググループの管理	11
2.3.1.3. 国際審査員管理	11
2.3.1.4. 規則の進化	12
2.3.1.5. スポーツ連携	12
2.3.1.6. 競技運営	12
2.3.1.7. 法令遵守	12
2.3.1.8. 世界ランキング	12
2.3.2. ワーキンググループメンバー	12
2.3.2.1. 一般的コミットメント	12
2.3.2.2. 開発と研修	12
2.3.2.3. 規則の進化	12
2.3.2.4. スポーツ連携	13
2.3.2.5. 競技運営	13
2.3.2.6. 世界ランキング	13
2.3.2.7. 法令遵守	13
2.3.2.8. 国際審査員管理	13
3. 国際役員	14

3.1. 役員	14
3.2. 国際代表者	14
3.3. 国際コーチ	14
3.4. アスリート代表	14
3.4.1. アスリート代表としての責任	14
3.5. 競技会関係者	15
3.6. 国際審査員	15
3.6.1. 国際審査員の利用状況	15
3.6.2. 国際審査員の雇用	15
3.6.2.1. 制限	15
3.6.3. 国際審査員の職務	15
3.6.4. 主任審査員	16
3.6.5. 国際裁判官の試験	16
3.6.6. 審査員	16
3.6.6.1. 一般権限と任命	16
3.6.6.1.1. 任命	16
3.6.6.1.2. 審査員の構成	17
3.6.6.1.3. 審査員の服装	17
3.6.6.2. 審査員の役割と責任	17
3.6.6.2.1. 主任審査員	17
3.6.6.2.2. 副主任審査員	17
3.6.6.2.3. 集計審査員	18
3.6.6.3. コールエリア審査員	18
3.6.6.4. スタートディング審査員	18
3.6.6.5. コース審査員	18
3.6.6.6. ゴールライン審査員	18
3.7. 公式司会者	18
3.8. レースディレクター	19
3.9. トラックオープナー	19

4. 国際的な選手	20
4.1. 一般規則	20
4.1.1. 授賞式出演	20
4.1.2. 行動	20
4.1.3. 服装	20
4.1.4. スポンサーシップと広告	20
4.2. 安全	20
4.2.1. スケーター保険	21
4.3. 用具	21
4.3.1. スケート靴	21
4.3.2. 保護具	21
4.3.2.1. 必須の保護具	21
4.3.2.2. 推奨される保護具	22
4.3.2.3. 保護	22
4.3.3. カラービブ	22
4.3.4. POV カメラ	22
5. 世界選手権	23
5.1. 一般情報	23
5.2. 場所の要件	23
5.3. 公告	23
5.4. 登録	23
5.5. カテゴリー	23
5.6. 審査員	23
5.7. 大会スケジュール	24
5.8. 予選の形式	24
5.9. 表彰	25
6. ワールドカップのイベントと世界ランキング	26
6.1. ワールドスケート公認のワールドカップ大会	26
6.2. 世界ランキング	26

7. 会場の要件	27
8. 技術規則	28
8.1. 大会の一般ルール	28
8.1.1. 大会日程	28
8.1.2. チームリーダー会議	28
8.1.3. トレーニング	28
8.1.3.1. スケートの責任	28
8.1.3.2. 公式トレーニング	28
8.1.3.3. 競技前のトレーニング	28
8.2. 予選	29
8.2.1. タイムトライアル	29
8.2.1.1. タイムトライアルの手順	29
8.2.1.2. タイムトライアル形式	29
8.2.1.3. 計時	30
8.2.1.4. 呼び出し	30
8.2.1.5. スタートの順番	30
8.2.1.6. スタートの合図	30
8.2.1.7. 不正スタート	30
8.2.1.8. ゴールライン	31
8.2.1.9. タイムトライアルの結果	31
8.2.1.10. 天候の管理	31
8.2.2. ウィンプール	32
8.2.2.1. レース手順	32
8.2.2.2. レースの形式	32
8.2.2.3. フェーズ生成	32
8.2.2.4. スタートゲートの順番	33
8.2.2.5. スタートの合図	33
8.2.2.6. 不正スタート	33
8.2.2.7. ゴールライン	33

8.2.2.8.	ヒートランキング	33
8.2.2.9.	最終ランキング	33
8.2.2.9.1.	同順位の解決	34
8.2.2.9.2.	例外	34
8.2.2.10.	天候の管理	34
8.3.	スケートクロス	34
8.3.1.	レース手順	34
8.3.2.	レース予選手続き	35
8.3.3.	レースの形式	35
8.3.4.	予選ラウンド	36
8.3.5.	スタートゲートの順番	37
8.3.6.	スタートの合図	37
8.3.7.	不正スタート	37
8.3.8.	ゴールライン	38
8.3.9.	ヒートランキング	38
8.3.10.	最終ランキング	39
8.3.11.	ラッキールーザー	40
8.4.	チームクロス	41
8.4.1.	チーム編成	41
8.4.1.1.	世界選手権および大陸選手権	41
8.4.2.	レース手順	41
8.4.3.	レース予選手続き	41
8.4.3.1.	タイムトライアル予選の形式	41
8.4.3.2.	ウィンプール予選の形式	42
8.4.4.	レースの形式	42
8.4.5.	スタートゲートの順番	43
8.4.6.	交代の管理	44
8.4.7.	スタートの合図	44
8.4.8.	不正スタート	44

8.4.9. ゴールライン	44
8.4.10. ヒートランキング	44
8.4.11. 最終ランキング	44
8.5. 審査基準	46
8.5.1. 接触と干渉	46
8.5.2. 優先権ルール	46
8.5.3. 制裁	47
8.5.4. 降格	47
8.5.5. 失格 (DQ)	47
8.5.6. 完走しなかった (DNF)	47
8.5.7. スタートしていない (DNS)	47
8.5.8. ビデオ監視	48
8.6. 公式結果	48
9. アンチドーピング規則	49
10. 緊急対策	50
10.1. 緊急事態の原因	50
10.2. 緊急事態における競技形式	50
10.3. イベントスケジュールに関する状況	51
11. 懲戒処分とクレーム	52
11.1. 懲戒委員会	52
11.2. フェアプレー	52
11.3. 攻撃性	52
11.4. 連携の反則	52
11.5. 審査員に対する不正行為	52
11.6. 懲戒手続き	52
11.7. 懲戒委員会の進捗状況	53
11.8. 懲戒処分	53
11.9. クレーム	53
11.9.1. クレームの手続き	53

12. 付属書 & 関連文書 .....	54
12.1. クレーム公式フォーム .....	54
12.2. 脳震盪プロトコル .....	55
12.2.1. 概要 .....	55
12.2.2. 脳震盪を起こしながらイベントを続けた場合の結果 .....	55
12.2.3. 脳震盪の認識 .....	55
12.2.3.1. 視覚的サイン .....	55
12.2.3.2. 症状 .....	56
12.2.3.3. 記憶力テスト .....	56
12.2.3.4. 赤信号(より深刻な怪我の兆候) .....	56
12.2.4. 脳震盪の管理 .....	57
ルール変更チャート .....	59

## 免責事項

この文書は、ワールドスケートの独占的な知的財産です。公開されているものではありませんが、事前の書面による同意なしに、全部または一部を改変、複製、配布することは禁止されています。ワールドスケートは、本書に含まれる情報の誤用や誤解釈に関して一切の責任を負わず、適切な裁判所において必要な法的手段を講じる権利を留保します。

## 1. 導入と定義

### 1.1. 序文

本総則は、公式の WORLD SKATE 言語である英語で記された公式版です。本書では、すべての WORLD SKATE メンバーに関して男性形が使用されています。数量は文字および(数字)で表記されます。例: two(2)。

### 1.2. 定義

スケートクロスの種目は、さらに二つのサブ種目で構成されています。

- ❖ スケートクロス
- ❖ チームクロス

#### 1.2.1. スケートクロス

スケートクロスは、3 人または 4 人のスケーターが、さまざまな高さの障害物（ランプ、ファンボックス、ピラミッド、波など）とターンのあるトラックで競う一連のレースです。

レースごとにゴールラインを通過した上位 2 名のスケーターが次のラウンドに進出します。ラウンドは決勝まで続き、4 人の上位スケーターが互いに競い合います。

ヒート構築の基準として、個別のタイムトライアルまたは Win プール システムを使用できます。

#### 1.2.2. チームクロス

チームクロスは、2 チームによる一連のレースで構成されており、異なる高さの障害物(ランプ、ファンボックス、ピラミッド、波など)とコーナーがあるトラック上で行われます。

各シリーズにおいて、最下位のチームは次のラウンドに進出できません。ラウンドは決勝まで続き、決勝では上位 2 チームが対戦します。

ヒート構築の基準として、個別のタイムトライアルまたは Win プール システムを使用できます。

#### 1.2.3. トラック

トラックのデザインは各大会で変わり、平らな面や斜面の上に設定されることがあります。トラックの長さは 100 メートルから 400 メートルで、競技のレベルによって決まります。

## 2. ワーキンググループ

### 2.1. 会則

スケートクロスワーキンググループは WORLD SKATE の権限の下で運営されています。

ワーキンググループマネージャーが指揮し、指名されたメンバーと活動を調整します。メンバーの人数は、マネージャーと合意の上で WORLD SKATE によって決定されます。

ワーキンググループメンバーのすべての任命および解任は、WORLD SKATE による最終的な検証の対象となります。

マネージャーは、グループの行動と管理についてスポーツ部に直接責任を負います。

### 2.2. 任務

ワーキンググループは以下の責任を負っています：

- ❖ **組織とプロモーション:**スケートクロスの活動を企画、発展、促進します。
- ❖ **規則:**学問分野の規則や規定を作成、更新、管理する。スポーツの進化に対応するために、総則およびその他すべての規則を必要に応じて改正する。
- ❖ **定期的な見直し:**すべてのスケートクロス規則の包括的な見直しと改訂のために、固定されたレビューサイクル(例:年2回または4年に1回)を確立し、それに従うことで、提出前に最大限の透明性を確保し、関係者との協議を行うこと。
- ❖ **スポーツ連携:**WORLD SKATE に加盟するすべての全国連盟および大陸地域のスケートクロス技術委員会と緊密な業務関係を築き維持し、技術的な事項に関する指導とサポートを提供すること。
- ❖ **法令遵守:**選手および同行するスタッフの行動が、WORLD SKATE によって定められた規則に従っていることを確実にすること。
- ❖ **競技役員の任命:**WORLD SKATE 大会で審判を務めるすべての主任審査員および国際審査員の公式選考および任命プロセスを管理します。ワーキンググループは、資格基準の一貫性と遵守を確保するため、特定の競技種目または大陸地域における国際審査員の指名をワーキンググループメンバーに委任する場合があります。
- ❖ **技術の進歩:**競技の公正性や観客の体験を向上させるために、スコアリング、タイム計測、放送、ビデオ判定における新技術の導入を評価し、提案する。

## 2.3. 詳細な役割と責任

### 2.3.1. スケートクロスマネージャー

スケートクロスマネージャーはワーキンググループの議長を務めます。マネージャーは会議を主導し、同点の場合は決定票を持ち、公式な代表者として機能します。マネージャーの主な職務は以下の通りです:

#### 2.3.1.1. ワールドスケート連絡役

- ❖ **窓口:**ワーキンググループの運営に関する WORLD SKATE とのあらゆるコミュニケーションの窓口として機能します。
- ❖ **報告:**管理部門長、その協力者、年間を通じて雇用される国際審査員の活動を詳細にまとめた年次報告書を作成します。
- ❖ **提出:**レポートを WORLD SKATE に提出してください。
- ❖ **保管:**ワーキンググループの活動や決定に関連するすべての公式通信、文書、議事録、報告書の安全なアーカイブを維持・整理します。

#### 2.3.1.2. ワーキンググループの管理

- **メンバー推薦:**ワーキンググループのメンバー候補を提案・推薦し、最終承認のために WORLD SKATE スポーツ部門に提出する。
- **メンバー監督:**メンバーに特定のタスクを割り当て、彼らのパフォーマンスやグループの目標遵守状況を監視します。
- **会議:**すべてのワーキンググループ会議を組織・議長し、これらの会議の公式議事録(または記録)を起草・保管すること。
- **代理指名:**一時的な不在または能力喪失の際にマネージャーの職務と責任を引き継ぐ代理マネージャーをワーキンググループメンバーの中から指名します。
- **委任権限:**マネージャーは、自身の職務のいずれかの運営実行および調整をワーキンググループのメンバーに委任することができます。ただし、最終的な承認に関する責任と権限はマネージャーに留まります。

#### 2.3.1.3. 国際審査員管理

- **研修と認定:**審査員向けの研修コースを企画し、新しい国際審査員のための試験を実施する。
- **審査員名簿:**国際審査員の公式名簿を検証、更新、管理します。
- **任命管理:**マネージャーは、主任審査員と国際審査員の最終的な承認と正式な任命の権限を持ちます。マネージャーは、最終的な責任を保持しながら、特定の大陸地域または競技種別ごとに、国際審査員の指名プロセスを指定されたワーキンググループメンバーに委任することができます。

#### 2.3.1.4. 規則の進化

- **調整:**すべての規則改正をワーキンググループのメンバーと調整します。
- **提出:**規則の更新提案を WORLD SKATE に提出してください。

#### 2.3.1.5. スポーツ連携

- **焦点:** 全国連盟および大陸地域技術委員会とのコミュニケーションにおける主要な窓口として機能する。この任務は、包括的な対応を確保するために、特定のワーキンググループのメンバーに正式に委任することができる。

#### 2.3.1.6. 競技運営

- **イベント認定:**WORLD SKATE が認定するすべての Skate Cross 公認イベントを検証・調整します。
- **技術監督:**会場要件規則の適用を監督します。

#### 2.3.1.7. 法令遵守

- **懲戒:**WORLD SKATE への提出前に、懲戒委員会が行った懲戒勧告を審査し、検証します。

#### 2.3.1.8. 世界ランキング

- **公開:**世界ランキングを毎月 WORLD SKATE のウェブサイトで公開し、指定されたワーキンググループメンバーによってデータの正確性が保たれるようにしてください。

### 2.3.2. ワーキンググループメンバー

ワーキンググループのメンバーは、以下の分野でマネージャーを支援する個別の責任を負っています。

#### 2.3.2.1. 一般的コミットメント

- **出席:**すべての予定されたワーキンググループ会議(オンラインまたは対面)に積極的に参加し、集団意思決定プロセスに十分に貢献すること。
- **助言役:**マネージャーおよびワーキンググループに対し、専門分野およびスポーツの地域発展に関する専門的な助言と助言を提供します。

#### 2.3.2.2. 開発と研修

- **プログラムサポート:**世界中のコーチやアスリート向けの技術マニュアル、トレーニングガイドライン、教育資料の作成と普及を支援します。
- **若者の参加促進:**若者の参加を増やし、スポーツがすべての地域で包摂的かつアクセスしやすいものとなるようにするための戦略を策定し提案する。

#### 2.3.2.3. 規則の進化

- **貢献:**スポーツのニーズに基づき、一般規則およびその他の規則の改正および進化に貢献します。

#### 2.3.2.4. スポーツ連携

- **委任連絡役:**スケートクロスマネージャーから正式に委任された場合、特定の国内連盟や大陸地域の指定連絡役として技術的な助言を提供し、協力を促進します。

#### 2.3.2.5. 競技運営

- **支援:**マネージャーが WORLD SKATE 公認イベントの管理を支援し、予備審査の実施や認可申請の報告を行います。

#### 2.3.2.6. 世界ランキング

- **管理:**マネージャーの監督のもと、アスリートの公式世界ランキングのデータシステムを管理・維持します。

#### 2.3.2.7. 法令遵守

- **懲戒役割:**懲戒委員会のメンバーとして、アスリートおよび人事行動に関する調査と提言を行います。

#### 2.3.2.8. 国際審査員管理

- **統一的な適用:**トレーニングセッションの調整や選手名簿の維持など、一般規則およびその他の規則の解釈と適用がすべての国際大会で統一されていることを確認します。
- **活動報告:** 審査員が職務を適切に遂行できなかった事例をマネージャーに報告します。

### 3. 国際役員

#### 3.1. 役員

国際役員は以下の通りです:

- ❖ ワールドスケート会長。
- ❖ ワールドスケート副会長。
- ❖ ワーキンググループマネージャー。
- ❖ ワールドスケート事務総長。
- ❖ ワーキンググループメンバー。

#### 3.2. 国際代表者

代表者は以下の通りです:

- ❖ 参加国により代表団の責任者として正式に任命され、スポーツの誠実さとフェアプレーの原則に従って行動しなければならない国またはチームの代表者。
- ❖ 世界選手権では、各国につき2名の公式代表がWORLD SKATEによって認定されています。

#### 3.3. 国際コーチ

- ❖ その国やチームのコーチは公式な役員ではありません。彼らは、公式な場で自分のチームや国を代表することは許されていません。
- ❖ 競技場近くにある「コーチエリア」と呼ばれる特定のエリアが彼らのために確保されています。

#### 3.4. アスリート代表

毎年初めに、ワーキンググループマネージャーによってアスリート代表が任命され、選手とワーキンググループの間の連絡役となります。

##### 3.4.1. アスリート代表としての責任

アスリート代表はワーキンググループとアスリートの橋渡し役です。代表者は選手の一般的な要望を伝えます。

さらに、ワーキンググループはアスリート代表をいくつかのワーキンググループ会議に参加するよう招待する場合があります。

### 3.5. 競技会関係者

競技会の関係者は以下の通りです:

- ❖ 審査団は審査員と主任審査員で構成されます、
- ❖ 公式司会者はレースコース内への入場が許可されている。
- ❖ レースディレクター
- ❖ 트랙オープナー

### 3.6. 国際審査員

#### 3.6.1. 国際審査員の利用状況

世界選手権や大陸間選手権、ならびに 2 か国以上が参加する国際大会の審査員には、ワーキンググループに認められた国際審査員のみが任命できます。十分な数の認定国際審査員がない場合、国内審査員が審査員の補助として利用されることがあります。

各国連盟は、国際審査員の名前を WORLD SKATE に通知し、何らかの理由で活動を中断させられた者を通知しなければなりません。そのような場合、各国連盟が書類や理由を提供することがあります。

#### 3.6.2. 国際審査員の雇用

国際大会では、少なくとも 2 つ以上の異なる大陸の参加がある場合、主催国は他の参加国とともに審査員の構成を決定できますが、国際審査員長の名前についてはワーキンググループに確認しなければなりません。

すべての関連費用を負担する意思がある場合、開催国は、競技会の場所にできるだけ近い非参加国に所属する国際審査員長およびその他の国際審査員の任命について、ワーキンググループに申請することができます。

##### 3.6.2.1. 制限

すべての国際審査員は、70 歳の誕生日に引退しなければなりません。世界選手権や大陸選手権に出場している親族がいる国際審査員、あるいは参加選手のコーチやマネージャーである国際審査員は、可能であれば審査員団から除外されるべきです。そのような状況にある審査員は任命時にこれを主任審査員に説明し、主任審査員がタスクの割り当てにおいて彼らの立場を考慮します。

#### 3.6.3. 国際審査員の職務

国際大会に任命される国際審査員は、自国を一切参照せず、ワーキンググループが発行したすべての規則や規則を尊重し厳格に執行しなければなりません。

ワーキンググループは、国際審査員が現行の一般規則に違反した場合に制裁を科すことができます。これは、警告、一年間の資格停止、またはリストからの最終削除の方法で行うことができます。国内連盟、大陸地域、または協会によって国際審査員に対して取られた懲戒処分は、ワーキンググループによっても有効で適用可能であると認められます。

#### 3.6.4. 主任審査員

国際主任審査員とは、少なくとも3年以上国際審査員を務めている者、またはワーキンググループの見解で、過去の競技で審査員に必要なすべての業務を完璧に遂行できることを示している者を指します。したがって、彼らは世界選手権の指揮を執る資格を持っています。

#### 3.6.5. 国際裁判官の試験

審査員の審査は WORLD SKATE がワーキンググループの支援を受けて運営しています。

各候補者は、自国で最高2年間以上審査員を務めている必要があります。そのような候補者は、WORLD SKATE の公用語である英語に堪能でなければなりません。

提案された候補者は、ワーキンググループのメンバーと経験豊富な国際審査員によって審査されます。

- ❖ スケートクロス競技の知識についての 10 分間の口頭テスト。公用語(英語)を理解し話す能力が評価されます。
- ❖ 規則の知識に関する 2 時間の筆記試験です。

WORLD SKATE の 2 つの試験に合格した候補者は、審査員としてのさまざまな任務における能力について観察および評価されます。

これらの試験に合格した候補者は国際審査員登録となり、国際大会に招集されることができます。

国際審査員試験の受験料は 50 米ドルです。

#### 3.6.6. 審査員

##### 3.6.6.1. 一般権限と任命

各競技は、主任審査員と審査員団によって運営されます。審査委員長は、審査の適切な進行を監督し、すべての競技および技術規則の遵守を確保する責任があります。

主任審査員は自身の行動と審査員の全体的なパフォーマンスについて、スケートクロスワーキンググループに直接報告します。

##### 3.6.6.1.1. 任命

WORLD SKATE 公認のすべてのイベントにおいて、ワーキンググループは国際審査員(主任審査員を含む)を、通常登録された国際審査員の中から選出して任命します。

### 3.6.6.1.2. 審査員の構成

審査員の構成は以下で定義されています:

- ❖ 文書 Skate Cross – World Cup Regulation – 2026 for World Cups ❖ 5.5.項 世界選手権の審査員。

### 3.6.6.1.3. 審査員の服装

国際大会では、公式の WORLD SKATE ジャッジ用ユニフォームは同じ色のジャージとズボンが必須です。個人または無断のスポンサーブランドは一切許可されていません。それ以外は何も許されません。

## 3.6.6.2. 審査員の役割と責任

### 3.6.6.2.1. 主任審査員

一般規則に定められた職務に加え、主任審査員は競技のすべての技術的および審査面に責任を負っています。したがって、彼らは以下を行います。

- **審査員の管理:**審査員の作業を指示し、具体的な任務を割り当て、不一致を解決します。
- **フェアプレーの保証と規則の解釈:**すべてのスケーターがルールに従うことを強制し、規則に明示的に規定されていない技術的な問題や状況に対処して解釈し、スポーツの利益を最優先に考えて規則の精神を適用します。
- **規律の厳格化:**規則に違反した行動をとったスケーター、コーチ、連盟代表に対して警告を発したり制裁を科す権限を行使してください。
- **レースをコントロールする:**審査員が配置につき、タイムキーパーが準備されているか確認してからスタートの合図を出しましょう。
- **失格の監督:**審査員から明確な警告を受けたにもかかわらず、規則や指示に従わない場合は失格となります。
- **報告書の承認と提出:**集計審査員が作成した大会結果に署名し、他の報告書とともにワーキンググループに提出してください。
- **審査員の交代:**職務を基準に果たしていない審査員や、健康上の問題やその他の特別な事情がある場合に、解任または交代します。
- **クレームの決定:**主任審査員は、連盟によって提出されたクレームについての結果を決定する権限を持ち、その決定は競技レベルでは最終的なものとなります。

### 3.6.6.2.2. 副主任審査員

副主任審査員の基本的な役割は、競技会の継続的かつ円滑な運営を確保することであり、このため、副主任審査員はいつでも主任審査員の義務と責任をすべて引き受けられるよう十分に準備しておかなければなりません。

主任審査員が不在の場合、副主任審査員が介入して主任審査員の役割を果たす権限を持ちます。

#### 3.6.6.2.3. 集計審査員

集計審査員は、特に予選の準備、ランキングや国別ランキングの作成、そして後に主任審査員に提出され署名される大会結果の作成に関して、主任審査員と協力する役割を担っています。

#### 3.6.6.3. コールエリア審査員

コールエリア審査員は以下の業務を担当します：

- **レース前の準備:**各レース前にスケーターを集め、装備を確認し、公式のスタート順番を厳守します。

#### 3.6.6.4. スターティング審査員

スターティング審査員は以下の業務を担当します。

- **スタートポジションチェック:**レース開始前に全スケーターのスケート靴がスタートラインの後ろにいるか確認します。
- **スタート手続き:**ルールで定義されたスタート手続きを管理します。
- **不正スタート管理:**不正スタートを合図し、スケーターを呼び戻します。

#### 3.6.6.5. コース審査員

コース審査員は以下の業務を担当します：

- ❖ **レース監督:**自分が担当する部分の競技の進行を監督します。
- ❖ **不正通報:**レース中に発生した不正行為について主任審査員に報告し、主任審査員の同意のもとでスポーツ上の違反を犯したスケーターに警告を与える。また、大会中の懲戒処分を行う。

#### 3.6.6.6. ゴールライン審査員

ゴールライン審査員の役割は、スケーターの到着順を正確に決めることです。

- **ゴールライン結果:**電子フォトフィニッシュを用いてゴールラインの結果を算出します。
- **不正通報:**ゴール地点で発生した不正を主任審査員に報告します。

### 3.7. 公式司会者

アナウンスは、WORLD SKATE の公用語である英語で行われます。主催国の言語で行うこともできます。

司会者は、各レースに参加するスケーターの名前とユニフォームの色、および競技に関するすべての関連情報を公に知らせるものとする。

各レースの結果は、公式結果受領後、可能な限り速やかに発表されるものとします。主催者およびスケートクロスワーキンググループマネージャーの指示に従い、司会者はすべての発表手続きに関する責任を負います。

### 3.8. レースディレクター

レースディレクターは主催者、ワーキンググループ、そして主任審査員との重要な連絡役です。彼の主な責任は、トラックが安全でありながら技術的に挑戦的であることを確保し、『スケートクロス - スポーツおよび会場要件』に定められた競技基準に沿うことです。

大会前に、レースディレクターはトラックオープナーと直接連携し、トラックの安全性や技術的機能の最終調整を行います。

コースディレクターは、最終的にコースを承認し、競技が進行するための最終的な許可を与える人物です。

また、競技会の審査員も務めることがあります。

### 3.9. トラックオープナー

トラックオープナーはコースの完全な安全を確保するための初期チェックを担当します。彼の役割は、スケートでのトラックテストを行い、技術的な機能の改善や安全性確保のための最終調整をコースディレクターにフィードバックすることです。

また、競技会の審査員も務めることがあります。

## 4. 国際的な選手

### 4.1. 一般規則

スケーターは適切なスケートクロスのルールに慣れ親しむ責任があり、それと公式審査員の追加指示にも従う必要があります。スケーターはすべてのスケートクロスのルールと規定を守らなければなりません。

#### 4.1.1. 授賞式出演

スケートクロスマネージャーにより承認された正当な理由なしに表彰式に出席しないスケーターは、ランキングポイントおよび賞金を含むすべての賞を失います。特別な事情がある場合、他の人物が彼を代理することができますが、この人物には表彰台に立つ権利はありません。

#### 4.1.2. 行動

スケーターは組織のメンバー、審査員、ボランティア、役員、そして一般の人々に対して、正しくスポーツマンシップに満ちた態度を取らなければなりません。

審査員およびスケートクロスマネージャーは、スケーターがトラック内外で受け入れられない態度を示した場合、そのスケーターの競技参加をいつでも許可しないことがあります。

#### 4.1.3. 服装

すべての競技ラウンドでは適切な服装を着用しなければならず、競技場で引っかかる可能性のある非常にゆったりした服など、ライダーや他の競技者の安全に危険を及ぼさないこと。連盟、イベント、スポーツの公共イメージを損なう可能性のある攻撃的な発言や言葉遣い、その他の内容を含む衣服の着用は禁止されています。安全上の理由から、トップレスでの競技は厳しく禁止されています。

スケーターの服装が安全かつ適切かどうかの最終決定は、主任審査員が下します。

#### 4.1.4. スポンサーシップと広告

すべての装備に広告を掲載する際、ビブの可読性を損なわず、スケートクロスや競技スポンサーのロゴを隠さない限り許可されています。ワーキンググループは、スポーツに適さないスケーターのパートナー(例:薬物)を予告なしに禁止する権利を有します。タバコや麻薬(麻薬)の広告は禁止されています。

## 4.2. 安全

審査員と地元の主催者は、スケーターがトラック上で許容できない態度を示したり、スケート技術が不十分で危険な状況を生じさせる場合、いかなる場合も競技を許可できません。

#### 4.2.1. スケーター保険

スケートクロス競技に参加するすべてのスケーターは、自分の事故保険に加入しなければなりません。

### 4.3. 用具

スケーターは、以下の規則に適合した装備でのみ競技に参加することができます。装備の要件を満たす責任は、スケーター本人にあります。

#### 4.3.1. スケート靴

スケートは、1足あたり3～4個のウィールで構成され、すべてのウィールの直径は72～110mmで、フレーム内に設置され、モーターや電気による補助なしでベアリングのみで組み立てられます。

鋭いエッジや自分自身や他のスケーターに害を及ぼす可能性のある特徴を持つスケートは禁止されています。

#### 4.3.2. 保護具

##### 4.3.2.1. 必須の保護具

スケートでトラックに上がる際は保護装備が必須で、その装備には以下が含まれます:

##### ❖ ヘルメット

- 頭部の保護と安全性は、後頭部を支える一体型のハードシェルによって保証されており、国際認証も取得しています。
- あご紐は正しく留められなければなりません。
- 衝撃吸収を保證する硬質または軟質の内部パッド;
- アクセサリーの取り付けは禁止されています。
- 以下の認定ヘルメットタイプが承認されています:

- モトクロスまたはマウンテンバイクのダウンヒルヘルメット;
- インラインホッケー用ヘルメット;
- ローラーフリースタイルヘルメット;
- インラインダウンヒルヘルメット。

##### ❖ リストガード

リストガードには、手の甲と手首を完全に覆う保護パッドが装備されている必要があります。

皮膚の露出は禁止です。リストガードの手のひら部分はそのままにしてください。手のひらの一部を外して素手を露出させることは禁止されています。

##### ❖ ニーパッド

ニーパッドは、膝頭全体と脛の上部を覆う保護パッドを備えていなければなりません。肌の露出は許可されません。

パッドは脚にしっかりと固定され、使用中に滑り落ちたり動いたりしてはいけません。

必須の保護具を装着せずにコースを走行することは禁止されています。必須の保護具を紛失または取り外したスケーターは失格となります。

#### 4.3.2.2. 推奨される保護具

以下の着用をおすすめします：

- ❖ 肩の保護、胸部と背中中の保護シールド
- ❖ クラッシュパッド
- ❖ フルフェイスヘルメット
- ❖ 背中中の保護具
- ❖ マウスガード
- ❖ すねのパッド
- ❖ 肘の保護具/パッド

#### 4.3.2.3. 保護

レースのプロフィールやランプのサイズに応じて、主任審査員は必須の保護具や特定の条件を追加することを決定する場合があります。この情報は、競技の少なくとも 4 週間前までに登録済みのスケーターに提供されなければなりません。

#### 4.3.3. カラービブ

すべてのヒートでは、主催者が配布するビブを着用しなければなりません。

#### 4.3.4. POV カメラ

放送や審査の目的で組織や審査員から要求される場合、アスリートにはヘルメットに取り付けるための POV カメラが提供されることがあります。このデバイスは必須であり、運営チームによって適切に取り付けられます。このデバイスの取り付けを拒否するアスリートは、競技への参加が許可されず、失格となります。

## 5. 世界選手権

### 5.1. 一般情報

スケートクロス世界選手権は 1 大会のみで構成されます。この大会の優勝者は世界チャンピオンとして授与されます。

ワールドスケートゲームズ期間中は、2 年に 1 回だけスケートクロス世界選手権が開催されます。

### 5.2. 場所の要件

開催場所は、スポーツの知名度を高める環境を提供するものとし、一般の人の認知度と関与を最大限に高めるために、市内中心部の屋外環境が強く望まれます(強く推奨)。

主催者は観客の利便性を考慮し、対応するものとする。会場は一般の人々が容易にアクセスできる中央の場所であるべきで、宣伝やメディアの目的で最大限の視認性を確保する必要がある。

### 5.3. 公告

世界選手権は少なくとも 5 か月前までに発表しなければなりません。

### 5.4. 登録

世界選手権の登録はワールドスケートエントリープラットフォームを通じて管理されています。参加費は WORLD SKATE によって決定され、公式のお知らせで明記されています。

ワイルドカードの可能性については、対応する公式発表で手順が記載されます。

選手の名前は公式書類と同じように書かれなければなりません。

### 5.5. カテゴリー

世界選手権では、スケートクロスとチームクロスの両方のカテゴリーが開かれます。

スケートクロス	チームクロス
<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ ジュニア U19 女子・男子</li> <li>❖ シニア女子・男子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ ジュニア U19 女子・男子</li> <li>❖ シニア女子・男子</li> </ul>

### 5.6. 審査員

世界選手権には、少なくとも国際認定を受けた 7 人から 10 人の審判が必要です。

審査員は以下の構成です:

- ❖ 1名の主任審査員;
- ❖ 1名の副主任審査員;
- ❖ 1名の集計審査員;
- ❖ レースコースの種類に応じて4人から7人の審査員が選ばれます。
- ❖ 1名のトラックオープナー;
- ❖ 1名のコースディレクター;
- ❖ 電子計時システムによって異なる数の技術者が配置されています。

## 5.7. 大会スケジュール

世界選手権の詳細なスケジュールで、審判の到着から決勝レースまですべてを網羅しています:

### 0日目 - 役員の到着

### 1日目 - トラック検証と審査員会議

### 2日目と3日目 - 公式研修およびチームリーダー会議

### 4日目 - 予選とチームクロス決勝

- ❖ チームリーダー会議(任意)
- ❖ トレーニング
- ❖ 予選 - タイムトライアル
- ❖ チームクロス - 決勝
- ❖ チームクロス - 表彰式

### 5日目 - スケートクロス決勝

- ❖ チームリーダー会議(任意)
- ❖ 資格を持つスケーター限定のトレーニング
- ❖ スケートクロス - 決勝
- ❖ スケートクロス - 表彰式

### 6日目 - オプションの予備日(屋外イベントのみ)

この日は予備日として指定されており、イベントの一部を再スケジュールする必要がある場合にのみ使用されます。

## 5.8. 予選の形式

世界選手権の予選形式はタイムトライアルです。

## 5.9. 表彰

上位 3 名にはメダルが授与されます。トップ 8 のスケーターには証明書と賞品が授与されます。

## 6. ワールドカップのイベントと世界ランキング

### 6.1. ワールドスケート公認のワールドカップ大会

WORLD SKATE が公認するワールドカップ大会は、特定の規則によって管理されています。

ワールドカップに関する情報は、大会のルール、要件、手続きをまとめた文書「Skate Cross – World Cup Regulation」に記載されています。

### 6.2. 世界ランキング

世界ランキングは特定の規則によって管理されています。

ワールドランキングは、ワールドカップの結果に基づいて毎月発表されます。その形式やルールは「Skate Cross – World Ranking Regulation」と呼ばれる特定の文書に記載されています。

## 7. 会場の要件

会場とコースの技術的要件は『Skate Cross – Sports and Venue Requirements』の文書に詳述されています。

## 8. 技術規則

### 8.1. 大会の一般ルール

#### 8.1.1. 大会日程

大会スケジュールは以下の通りです:

❖ 「Skate Cross – World Cup Regulation」という文書に掲載されています。

❖ 第 5.6 節 世界選手権の競技スケジュールについて

スケートクロスやチームクロスは、悪天候などの場合に、主任審査員の判断と主催者の合意のもとで、全体または一部が中止されることがあります。

不測の事態管理は、第 10 項「不測の事態」で定義されています。

#### 8.1.2. チームリーダー会議

大会のチームリーダー会議はマネージャーによって開催されます。このセッションでは、主任審査員がスケートクロスとチームクロスのルールを確認し、トラックに関する詳細な情報を提供します。

特定の場合においては、主任審査員がイベントの状況に応じた特別な規則を導入することがあります。チームリーダーの不在は、失格を回避する正当な理由とはみなされません。スケーターにすべての関連情報を知らせるのはチームリーダーの責任です。

#### 8.1.3. トレーニング

##### 8.1.3.1. スケーターの責任

各スケーターは、練習セッション前にトラックを分析する責任があります。この目的のために、すべてのスケーターに指定された練習時間が割り当てられます。スケーターが割り当てられた練習時間を逃した場合、他の空いている時間に参加することはできません。

##### 8.1.3.2. 公式トレーニング

公式練習中、参加者は自国またはクラブに割り当てられた時間枠を厳守しなければなりません。コーチは注意を払う限り、トラック上にいることが許可されています。コーチはこのセッション中にスケートを履くことができますが、必要な保護具をすべて着用する必要があります。

##### 8.1.3.3. 競技前のトレーニング

タイムトライアル、スケートクロス、チームクロスの競技開始前に必ずトレーニングセッションが行われます。

正確な時間は主任審査員が決定します。

コーチはトラックに入ることができますが、注意を払う必要があります。これらのセッションでは、コーチがスケートを履くことは許可されていません。

競技が 30 分を超える遅延が発生した場合、遅延の影響を受けたスケーターには新たなトレーニングセッションが提供されます。

## 8.2. 予選

スケートクロスとチームクロスの両方の予選の順位を決定するために、2 つの異なる予選形式が適用されます。

**タイムトライアル:**この形式では、スケーターは 1~2 コースを個別にタイムトライアルで完走します。記録されたタイムに基づいて順位が決定されます。

**ウィンプール:**この形式では、スケーターは 3~4 つのグループレースで競います。スケーターは各レースの順位に基づいてポイントを獲得します。ウィンプール終了時に、スケーターは合計ポイントに基づいて順位付けされます。

予選形式は次のように定義されます:

- ❖ 「Skate Cross – World Cup Regulation」という文書に掲載されています。
- ❖ 第 5.6 節にて、世界選手権の予選形式。

### 8.2.1. タイムトライアル

#### 8.2.1.1. タイムトライアルの手順

タイムトライアルでは、スケーターは一人でトラックを走ります。スタートボックスからスタートし、トラック全体を走り切ってゴールラインを通過します。計時はスタートラインを越えた時点で始まり、ゴールラインを越えた時点で終了します。

スピードを上げるためにフェンスやコーンなど、手でトラック上のものを掴むことは許されていません。スケーターがランプの頂上に到達するのが難しい場合は、特別な許可が与えられることもあります。

ショートカットや、審査員がチームリーダー会議で明確に発表した禁止動作を使うと、その選手は走行の失格となります。

#### 8.2.1.2. タイムトライアル形式

タイムトライアルには 2 つの形式があります:

**A - 2 回のラン:**すべてのスケーターは 2 回の計時ランがあります。最初のランでスタートしなかった(DNS)、完走(DNF)、または失格(DQ)されたスケーターは、2 回目のランに参加することができます。

**B - 1 回のラン:**すべてのスケーターは 1 回の計時ランがあります。

### 8.2.1.3. 計時

タイムトライアルでは、スタートとゴールはフォトセル(光線)によって決定されます。各スケーターのタイムは、0.01 秒単位で記録されます。

### 8.2.1.4. 呼び出し

最初の滑走に不在のスケーターは、競技から「出場せず」と見なされます。出席しているものの、技術的または物理的に最初の滑走を行えないスケーターは、2 回目の滑走のみを使用することが認められます。

もしスケーターが2 回目のランに参加しないと決めた場合、審査員に通知しなければなりません。この場合、最初のランの時間のみが考慮されます。同点の場合は、両方のランを使ったスケーターが他より上位にランクされます。

### 8.2.1.5. スタートの順番

最初の順番は、最新のワールドランキングに基づき、最もランキングが低い選手から始まります。ランキングのない選手はリストの最初にランダムに追加され、最初に滑走します。ワールドランキングが利用できない場合、滑走順はランダムに決定されます。

2 回目のランの場合は、順位は1 回目の順位に基づいて、最も低い順位から順番が決まります。タイムを持たないスケーターはリストの最初にランダムに追加され、最初に滑走を行います。

### 8.2.1.6. スタートの合図

タイムトライアル中は自動スタートの手順が行われます。

スタート審査員は自動スタートを発動します:

❖ “オン ユア マーク”

❖ 3秒の間隔

❖ “レディ”

“レディ”の合図の後、スケーターは10 秒以内に滑走を開始できます。

特定の状況下では、スタートコマンドが変更されることがあります。

### 8.2.1.7. 不正スタート

以下は不正スタートが宣告されます:

❖ “レディ”からスケーターの滑走開始までの時間が10 秒以上の場合

❖ スケーターが“レディ”より前にスタートした場合

同じランで2 回連続不正スタートした場合、対象ランのスケーターは失格となります。

#### 8.2.1.8. ゴールライン

ランを認定してもらうには、スケーターは少なくとも 1 つのウィールが地面に接している状態でゴールラインを越える必要があります。

空中でゴールラインを越え、タイマーが止まらない場合は新たなトライは認められず、その走行は失格となります。

スケーターはフィニッシュラインを通過する際、必ずスケート靴を履いていなければなりません。最後のランジ動作における膝パッドのサポートについては、許容範囲が認められます。

これらのルールに従わない場合、走行の失格となります。

#### 8.2.1.9. タイムトライアルの結果

##### A - スケーターごとに 2 回のランタイムが計時されている場合

タイムトライアルの結果は、選手が 2 回行った滑走のうち、最も速いタイムに基づいています。

同順位の場合、そのスケーター間の決定には 2 番目の予選タイムが使用されます。

両方の予選タイムが同タイムの場合、スケーターのスケートクロス世界ランキングを用いて順位を決定します。それでも同点の場合は、コイントスで結果を決定します。

もしスケーターが両方のランでタイムを出せなかった場合、タイムトライアルの結果には全員がランキングされません。そのスケーターは、スケートクロスやチームクロスのレースに出場する資格もありません。

##### B - 1 回のランがスケーターごとにタイムカウントされている場合

タイムトライアルの結果は、1 回だけ行われた走行に基づいています。

予選タイムが同タイムの場合、スケーターのスケートクロス世界ランキングを用いて順位を決定します。それでも同点の場合は、コイントスで結果を決定します。

もしスケーターがタイムを出せなかった場合、タイムトライアルの結果には全員がランキングされません。そのスケーターは、スケートクロスやチームクロスのレースに出場する資格もありません。

#### 8.2.1.10. 天候の管理

タイムトライアルが主任審査員の決定により中止された場合、スケートクロスおよびチームクロス予選の結果とグループは次のように生成されます。

- ❖ タイムトライアルがまだ始まっていない場合は、世界ランキングを使ってグループを決定します。このランキングがない場合は、グループはランダムに編成されます。

- ❖ タイムトライアルがすでに開始され、最初のレースが始まって中止された場合、世界ランキングが用いて決勝のグループが決定されます。このランキングがない場合は、グループはランダムに編成されます。
- ❖ タイムトライアルがすでに開始されていて、最初の走行が終了し、2 回目の走行が始まって中止された場合、結果の生成には最初の走行の結果のみが考慮されます。

## 8.2.2. ウィンプール

### 8.2.2.1. レース手順

ウィンプールでは、スケーターは 3 人から 4 人のグループでトラックに立ちます。

スピードを上げるためにフェンスやコーンなど、手でトラック上のものを掴むことは許されていません。スケーターがランプの頂上に到達するのが難しい場合は、特別な許可が与えられることもあります。

ショートカットや、審査員がチームリーダー会議で明確に発表した禁止動作を使うと、その選手は走行の失格となります。

### 8.2.2.2. レースの形式

ウィンプール形式は複数のラウンドで構成されています。各ラウンドは複数のヒートで成り立っています。

各ヒートの終了時に、スケーターの到着順に基づいて順位が決定されます。この順位により、ポイントが割り当てられます。

その後、各選手が全ラウンド終了時に獲得したポイントを合計して総合ランキングが決定されます。

主任審査員は大会のラウンド数を決定する責任を負います。この決定はイベント開始前に発表されなければなりません。特別な理由で、このラウンド数は短縮されることがあります。

### 8.2.2.3. フェーズ生成

初戦では、3~4 人のスケーターによるヒートが、スケーターの国際ランキングに基づいてスネークシーディング方式で編成されます。国際ランキングを持たないスケーターは、分配の前にランダムにこのリストの最後に追加されます。

ヒートごとのビブカラーの配分は、国際ランキングに従って次の通り定められています。

- ❖ 赤色
- ❖ 黄色
- ❖ 緑色
- ❖ 青色

第 2 ラウンドからは、前ラウンドの結果に基づいてヒートの編成が決まり、以下のルールが定められています。

- ❖ 各ラウンドは前のラウンドと異なる必要がありますが、いくつかのヒートは繰り返すことがあります。
- ❖ 前ラウンドでグループ 1 位となった選手は、次のラウンドで赤色ビブを着用します。
- ❖ グループで 2 位になった選手は次のラウンドで黄色ビブを着用します。
- ❖ グループ 3 位の選手は次のラウンドで緑色ビブを着用します。
- ❖ 前のラウンドで 4 位になった選手、または DNS(スタートせず)、DNF(完走せず)、DQ(失格)となった選手には、次のヒートで青色ビブが割り当てられます。

#### 8.2.2.4. スタートゲートの順番

このルールは 8.3.5 節スタートゲートの順番で定義されているものと同じです。

#### 8.2.2.5. スタートの合図

このルールは 8.3.6 節スタートの合図で定義されているものと同じです。

#### 8.2.2.6. 不正スタート

このルールは 8.3.7 節不正スタートで定義されているものと同じです。

#### 8.2.2.7. ゴールライン

このルールは 8.3.8 節ゴールラインで定義されているものと同じです。

#### 8.2.2.8. ヒートランキング

各ヒート終了後、各選手のランキングに応じてポイントが与えられます；

- ❖ スケーターは 1 位にランクされると 9 ポイントを獲得します。
- ❖ 2 位のスケーターには 7 ポイントが与えられます。
- ❖ 3 位の選手には 4 ポイントが与えられます。
- ❖ スケーターは、4 位にランクされた場合、または DNS(出場せず)、DNF(完走せず)、DQ(失格)の場合、1 ポイントを獲得します。

#### 8.2.2.9. 最終ランキング

最終ランキングは、各スケーターが全ラウンドで獲得したポイントの合計によって決定されます。

大会に参加しなかった登録スケーターはランキングされません。

### 8.2.2.9.1. 同順位の解決

- ❖ 複数のスケーターが同じポイント数を持っている場合、世界ランキングが最も高い選手が優先されます。
- ❖ 複数のスケーターがポイント同点で世界ランキングを持っていない場合は、ランダム抽選で順位が決まります。

### 8.2.2.9.2. 例外

最後の出場資格枠には特定の規定が適用されます。この枠で複数の選手がポイントで同点の場合、次のラウンドに進む選手を決定するために、該当するすべての選手によるタイブレークレースが実施されます。このタイブレークレースの結果によって、これらの選手の予選ランキングが変更されます。

例: 最終ラウンドが準決勝から始まり、8位(最後の予選通過枠)で複数のスケーターが同点の場合、同点を決めるために彼らの間でレースが行われます。

### 8.2.2.10. 天候の管理

もしウィンプールのイベントが主任審査員の判断で中止された場合、スケートクロスおよびチームクロス予選の結果とグループは次のように決定されます。

- ❖ ウィンプールのイベントが中止時点でまだ開始されていない場合、決勝のグループはスケーターの世界ランキングを使用して作成されます。このランキングが利用できない場合、グループはランダムに作成されます。
- ❖ ウィンプールのイベントが開始され、1回戦が進行中で終了前に中止された場合、世界ランキングが用いられて決勝のグループが決定されます。このランキングがない場合は、グループはランダムに編成されます。
- ❖ ウィンプールのイベントがすでに開始され、少なくとも1ラウンドが完全に終了して検証されている場合、結果は最後に終了したラウンドに基づいて決定されます。

## 8.3. スケートクロス

### 8.3.1. レース手順

決勝戦の期間中、スケーターは3~4人のグループでトラックに立ちます。

スピードを上げるためにフェンスやコーンなど、手でトラック上のものを掴むことは許されていません。スケーターがランプの頂上に到達するのが難しい場合は、特別な許可が与えられることもあります。

ショートカットや、審査員がチームリーダー会議で明確に発表した禁止動作を使うと、その選手は走行の失格となります。

### 8.3.2. レース予選手続き

予選の結果によって、決勝進出資格が決まります。決勝進出のスケーターの正確な人数は、主任審査員がワーキンググループマネージャーと協議の上で決定します。

この人数はチームリーダー会議で発表されます。

ただし、例外的な場合には、審査員が資格決定後にこの人数を変更する権限があります。

### 8.3.3. レースの形式

レースは単一ノックアウト形式で行われます。

ヒートの構成やピブの配分は以下に基づいて決まります:

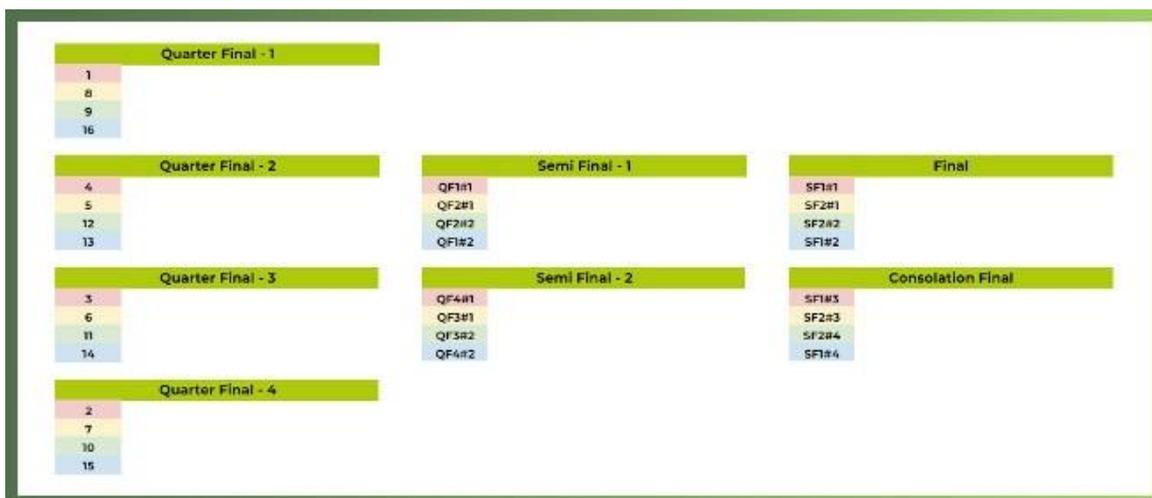
- ❖ 第1ラウンドの予選結果。
- ❖ 前回のラウンドの結果が、その後のすべてのラウンドに適用されます。

以下に例を示します。

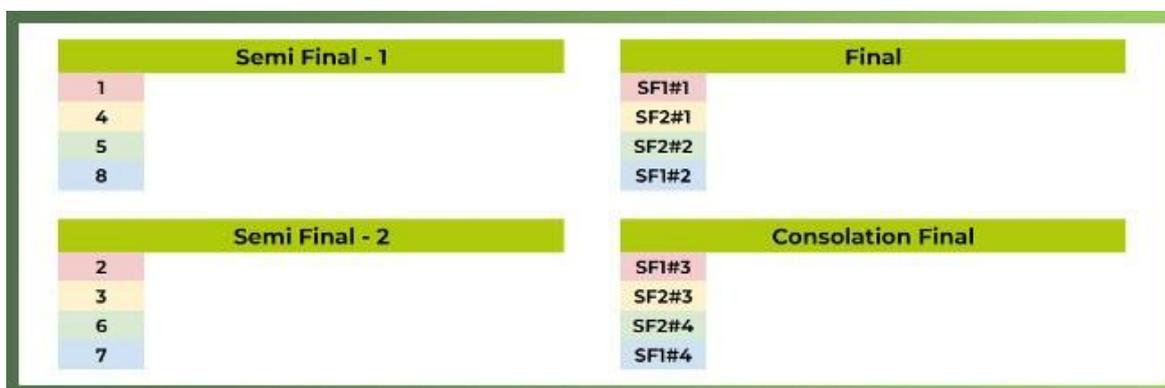
32 人のスケーターの編成:



16 人のスケーターの編成:



8 人のスケーターの編成:



5～8位決勝は任意であり、主任審査員の裁量により開催されます。5～8位決勝を実施する場合は、チームリーダーミーティング中に必ず発表してください。

ヒートが公式に発表されると、ラッキールーザールールを除き変更できません。

もし予選が行われない場合、ヒートの編成は世界ランキングに基づいて決定されます。世界ランキングが利用できない場合、ヒートの編成はランダムに決定されます。

8.3.4. 予選ラウンド

主任審査員の決定により、予選ラウンドを開催することができます。

予選ラウンドでは、予選ランキングに応じて一定数のスケーターが自動的に本戦への出場権を獲得し、残りのスケーターは予選ヒートに参加します。

主任審査員は、何人のスケーターが予選を通過するか、いくつかのグループが編成されるか、各グループから何人が決勝ラウンドに進むかを決定します。これらの詳細は、チームリーダー会議で発表されます。

## 編成の例:



### 8.3.5. スタートゲートの順番

スケーターは以下の順にスタートゲートを選ぶよう求められます。

- 1) 赤色ビブ
- 2) 黄色ビブ
- 3) 緑色ビブ
- 4) 青色ビブ

スケーターの選択は決定的であり、変更できません。

### 8.3.6. スタートの合図

レース中は、各レースで自動スタート手順が導入されます。アナウンサーはスケーターたちに準備を促します。

スタート審査員は自動スタート手順を発動します:

- ❖ “オン ユア マーク”
- ❖ 3 秒間の短い停止 – スケーターが静止する時間
- ❖ “セット” – スケーターは“セット”の合図の後、動かずに静止していなければなりません
- ❖ “ビーツ” – “セット”指示の後、1 秒から 3 秒の間でランダムに“ビーツ”という合図が鳴った後、スケーターたちはレースを開始します。

### 8.3.7. 不正スタート

以下には、不正スタートが与えられます:

- ❖ もしスケーターが“ビーツ”の前にスタートした場合

#### ❖ スケーターが“セット”指示と“ビーツ”の間に移動した場合

各ヒートにつき、スケーター1人につき1回のみ不正スタートが許可されます。同じヒートで同じスケーターが2回目の不正スタートをした場合、そのスケーターは最下位に降格されます。

重複不正スタートが複数回同時に発生した場合、スケーターは2回目の不正スタートの逆順に順位付けされます。最初に重複不正スタートを出したスケーターは、ヒートの最下位となります。

スタートゲートに自動開閉スタートドアが設置されている場合、スケーターがドアを無理やり開けた場合にのみ不正スタートが科せられます。

その場合、最初の不正スタートはスケーターを最下位に降格させることとなります。

#### 8.3.8. ゴールライン

地面に最初に触れてゴールラインを越えたウィールが、そのヒートの勝者を決定します。もしスケーターがラインを飛び越えた場合、主任審査員の判断により失格となることがあります。

スケーターはスケート靴のままゴールラインを越えなければなりません。そうでない場合は失格となります。ゴールラインを越える際にスケーターが転倒している場合、主任審査員が状況に応じて判断します。

#### 8.3.9. ヒートランキング

##### 予選ラウンド:

予選ラウンドでは、主任審査員が定める予選システムに基づき、フィニッシュラインを最初に通過した選手、またはフィニッシュラインを最初に通過した2名の選手が次のラウンドへの進出権を獲得します。レース中の状況によっては、選手の順位が下がったり失格になったりする場合があります。

##### その後のラウンド:

次のラウンドでは、ゴールラインを最初に通過した上位2名のスケーターが次のラウンドに進出します。前のラウンドと同様に、レースの状況によっては競技者が降格または失格になることがあります。

#### ヒートレース状況におけるランキング優先順位

レース上の問題が発生した場合の順位付けの優先順は、以下の通りです:

- ❖ 順位;
- ❖ Did Not Finish (DNF)(完走しなかったスケーター);
- ❖ Did Not Start (DNS)(スタートしなかったスケーター);
- ❖ Disqualified (DQ)(失格となったスケーター)。

ヒートランキングは、主任審査員の承認を得た後、アナウンサーが発表しなければなりません。

### 8.3.10. 最終ランキング

#### 最終ランキング

最終順位は以下のルールに基づいて決定されます:

- ❖ **トップ4の順位:** 上位4位に入ったスケーターは、決勝での順位に基づいてランク付けされます。
- ❖ **5~8位決定戦が開催された場合(5位~8位):** スケーターは5~8位決定戦での成績に基づいて順位が決まります。
- ❖ **5~8位決定戦が開催されなかった場合(5位~8位):**  
スケーターは以下の優先順位でランク付けされます:
  - 準決勝で3位となった選手は、予選順位に基づいてランキングされます。
  - 準決勝で4位となった選手は、予選順位に基づいてランキングされます。
  - 完走できなかったスケーター(DNF)は、予選順位に基づいてランキングされます。
  - スタートしなかったスケーター(DNS)は、予選順位に基づいてランキングされます。
  - 失格(DQ)となったスケーターは、予選順位に基づいてランキングされます。

- ❖ **準々決勝が開催された場合(9位から16位):**

スケーターは以下の優先順位でランク付けされます:

- 準々決勝で3位となった選手は、予選順位に基づいてランキングされます。
- 準々決勝で4位となった選手は、予選順位に基づいてランキングされます。
- 完走できなかったスケーター(DNF)は、予選順位に基づいてランキングされます。
- スタートしなかったスケーター(DNS)は、予選順位に基づいてランキングされます。
- 失格(DQ)となったスケーターは、予選順位に基づいてランキングされます。
- ❖ このランキングシステムは以降のラウンドでも継続されます。
- ❖ **スケートクロスレースや予選ラウンドに出場資格を得られなかったスケーター:**

これらのスケーターは、予選順位に基づいて順位付けされ、予選ラウンドに参加した選手の次に順位付けされます。

#### 競技中止の場合の特別ルール:

大会が中止された場合、最後に終了したラウンドの結果が最終的なものとみなされます。

- ❖ このラウンドを突破できなかった参加者は、以前に定められた手順に従ってランク付けされます。
- ❖ 前回のラウンドを突破した者は、予選の順位に基づいてランク付けされます。

決勝ラウンド開始前に大会が中止された場合、予選結果が最終ランキングに適用されます。

### 8.3.11. ラッキールーザー

スケートクロス第 1 ラウンドでスタートしなかった(DNS)スケーターは、自動的に予選を通過しなかった中で最も成績の良いスケーターに交代されます。スタートしなかったスケーターは、交代したスケーターの順位を引き継ぎます。

## 8.4. チームクロス

### 8.4.1. チーム編成

チームは2人または3人のスケーターで構成されています。チームの全メンバーは予選に参加している必要があります。

登録に反することが書かれていない限り、チームメンバーは同じカテゴリーに属している必要があります。

チーム名はラテン文字で提供するものとします。各チームは異なるチーム名を持たなければなりません。

チーム名が不適切な場合、主任審査員はチーム名の変更を求めることができます。

#### 8.4.1.1. 世界選手権および大陸選手権

世界選手権または大陸選手権では、全チームメンバーが同じナショナルチームの一員でなければなりません。

チーム名は以下の通りに定義されます:国 - N

❖ 国:IOCコードで書かれています

❖ N:このカテゴリーでこの国に登録されたチームの数までの1からの番号

### 8.4.2. レース手順

決勝では、チームはトラック上でレースを行い、スピードを上げるためにフェンスやコーンなど手でトラック上のものを掴むことは許されません。スケーターがランプの頂上に到達するのが難しい場合は、特別な許可が与えられることもあります。

ショートカットや、審査員がチームリーダー会議で明確に発表した禁止動作を使うと、その選手は走行の失格となります。

#### 8.4.3. レース予選手続き

予選ランキングは、チームクロスレースの出場資格を決めるための基準です。

参加資格のあるチームの正確な数は、ワーキンググループマネージャーと相談の上で、主任審査員によって決定されます。この数はチームリーダー会議で発表されます。

ただし、予選が終了した後、特別な事情がある場合には、主任審査員がこのチーム数を変更する権限を持っています。

##### 8.4.3.1. タイムトライアル予選の形式

チームの総合的な出場資格基準は、各チームのベスト2タイムの合計です。

チームは最速から最遅の順で昇順にランク付けされます。

**チームが2人のスケーターで構成されている場合:**

- ❖ チームの予選タイムは、各スケーターのタイムトライアルでの最速記録の合計に等しい。もしスケーターがタイムを持っていない場合、チームは予選通過できない。

**チームが3人のスケーターで構成されている場合:**

- ❖ チームの予選タイムは、チームのタイムトライアルでのベストタイム2回の合計と同じです。もし2人のスケーターにタイムがなければ、チームは予選通過できません。

#### 8.4.3.2. ウィンプール予選の形式

チームの総合的な出場資格基準は、ウィンプール予選で得た各メンバーの最高得点2つの合計です。その後、チームは得点が高い順にランク付けされます。

**チームが2人のスケーターで構成されている場合:**

- ❖ チーム予選スコアは、各スケーターの最高得点の合計と等しいです。スケーターに得点がない場合、そのチームは予選通過できません。

**チームが3人のスケーターで構成されている場合:**

- ❖ チーム予選スコアは、各スケーターの最高得点の合計と等しいです。スケーターに得点がない場合、そのチームは予選通過できません。

#### 同点の解消

複数のチームが同じポイントを持っている場合は、ランダムにランク付けされます。

#### 8.4.4. レースの形式

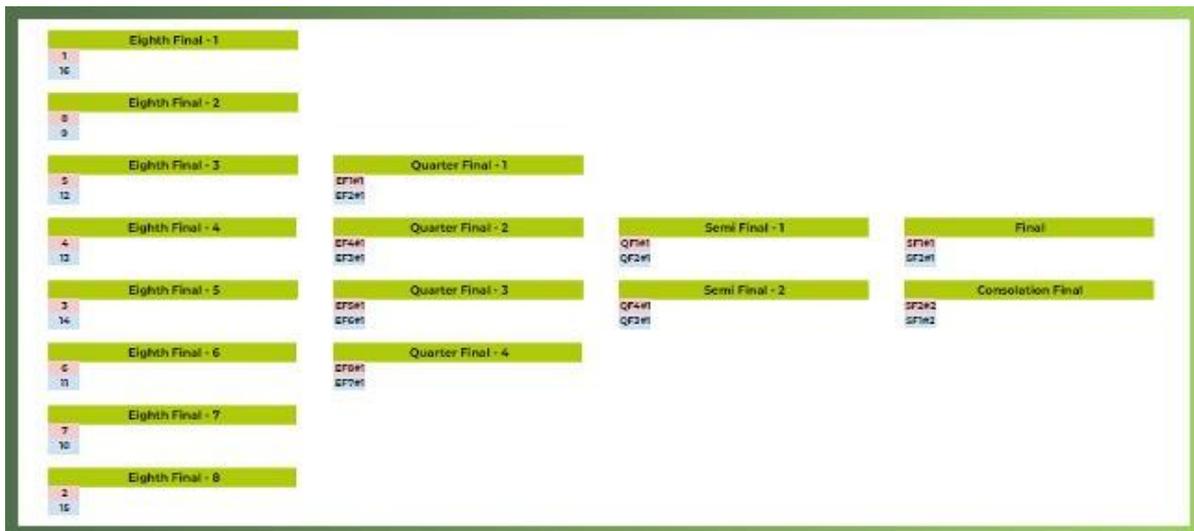
レースは単一ノックアウト形式で行われます。

ヒートの構成やピブの配分は以下に基づいて決まります:

- ❖ 第1ラウンドの予選結果;
- ❖ 前回のラウンドの結果が、その後のすべてのラウンドに適用されます。

以下に例を示します。

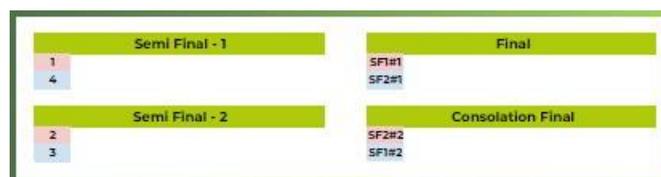
16 チーム編制:



8 チーム編制:



4 チーム編成:



銅メダル決定戦は必須です。

予選が行われない場合、予選の構成は世界ランキングの合計に基づいて決まります。世界ランキングが利用できない場合、ヒートの構成はランダムで決定されます。

8.4.5. スタートゲートの順番

チームは以下の順序でスタートゲートを選択するよう求められます:

- ❖ 赤色または黄色のビブ
- ❖ 緑色または青色のビブ

スケーターの選択は最終的なものであり、不正スタートがあった場合でも変更することはできません。

#### 8.4.6. 交代の管理

レースの開始時にはチーム編成に制限はありません。ただし、スタートラインには必ず 2 人のチームメンバーが必要です。もしチームがレース開始時に 2 人のスケーターを出場させることができない場合、そのチームは大会で「出走せず」と見なされます。

#### 8.4.7. スタートの合図

このルールは 6.3.6 節で定義されているものと同じです

#### 8.4.8. 不正スタート

このルールは 6.3.7 節で定義されているものと同じで、各チームに 1 回のフォールスタートが認められるという明確な規定があります。

#### 8.4.9. ゴールライン

このルールは 6.3.8 節で定義されたものと同じです

#### 8.4.10. ヒートランキング

各ヒートにおいて、メンバーの一人が 4 位でゴールしたチームは、次のラウンドに進むことができません。たとえ他のメンバーがヒートで 1 位になっても同様です。レース中の出来事に基づき、競技者は降格または失格となる場合があります。

#### ヒートレース状況におけるランキング優先順位

レース上の問題が発生した場合の順位付けの優先順は以下の通りです：

- ❖ 順位;
- ❖ Did Not Finish (DNF)(完走しなかったスケーター);
- ❖ Did Not Start (DNS)(スタートしなかったスケーター);
- ❖ Disqualified (DQ)(失格となったスケーター)。

ヒートランキングは、主任審査員の承認を得た後、アナウンサーが発表しなければなりません。

#### 8.4.11. 最終ランキング

チームの最終ランキングは以下のルールに基づいて決定されます：

- ❖ 金メダル決勝(1 位と 2 位):  
1 位と 2 位のチームは、金メダル決勝での順位に基づいて順位が付けられます。
- ❖ 銅メダル決勝(3 位と 4 位):  
3 位と 4 位のチームは銅メダル決勝の順位に基づいて順位が決まります。

**❖ 準々決勝が開催される場合(5位から8位までの順位):**

スケーターは以下の優先順位でランク付けされます:

- 準々決勝で2位となったチームは、その予選順位に基づいてランキングされます。
- 完走しなかった(DNF)チームは、その予選順位に基づいてランキングされます。
- 出場しなかったチーム(DNS)は、その予選順位に基づいてランキングされます。
- 失格(DQ)となったチームは、その予選順位に基づいてランキングされます。

**❖ 8位決勝が開催される場合(9位から16位):**

スケーターは以下の優先順位でランク付けされます:

- 8位決勝で2位となったチームは、予選順位に基づいて順位が付けられます。
- 完走しなかった(DNF)チームは、その予選順位に基づいてランキングされます。
- 出場しなかったチーム(DNS)は、その予選順位に基づいてランキングされます。
- 失格(DQ)となったチームは、その予選順位に基づいてランキングされます。

❖ このランキングシステムは以降のラウンドでも継続されます。

**❖ チームクロスレースに出場資格を得られなかったチーム:**

これらのチームは、チームクロスレースに参加したチームの後に配置され、予選ランキングに基づいてランク付けされています。

**競技中止の場合の特別ルール:**

大会が中止された場合、最後に終了したラウンドの結果が最終的なものとみなされます。

❖ この最後のラウンドを突破できなかったチームは、以前に定められた手順に従って順位付けされます。

❖ 前回のラウンドを突破したチームは、予選の順位に基づいてランク付けされます。

決勝開始前に大会が中止された場合、予選結果が最終ランキングに適用されます。

## 8.5. 審査基準

### 8.5.1. 接触と干渉

以下の接触や干渉は、審査員の裁量により制裁の対象となることがあります:

- ❖ 競争相手を押すこと
- ❖ 競争相手を引っ張る;
- ❖ 競争相手のジャージを掴むこと;
- ❖ 競争相手を危険にブロックすること;
- ❖ 競争相手を意図的に転倒させること;
- ❖ 意図的に障害物を落とすこと。
- ❖ 他の競技者に危険を及ぼす動作を行うこと;
- ❖ 優先権ルールを尊重しなかったこと;
- ❖ スケートの動作中に不連続な動きがあり、他の選手に危険を及ぼしたり、不公平な利点を生み出したりすること。

チームクロスでは、チームメイト同士の接触や交流は許可されています。しかし、相手をブロックするために連携することは禁止されています。

ただし、特定の偶発的かつ避けられない接触は、特定の条件下で認められることがあります。

- ❖ 加速やターン中に肩と肩が接触することがあります。
- ❖ 速いスケーターは、遅いスケーターの背中に手を置いて速度を吸収することがありますが、審査員はスケーターが押したか強く接触したかを判断し、それによって降格や失格になる可能性があります。
- ❖ より速いスケーターが接触を吸収するために腕を曲げた場合、審査員はスケーターを失格にしたり、ランクを下げたりしないことを選択できます。

### 8.5.2. 優先権ルール

急カーブやヘアピンコーナーでは、明らかに先行しているスケーターが優先権を持ちます。審査員はこの優先権ルールを適用して決定を下します。

- ❖ 後ろから来たスケーターが前のスケーターの前に割り込み、接触が発生して前のスケーターの進路が乱れたり転倒した場合、後ろから来たスケーターは失格または除外されます。

- ❖ この優先権ルールは、ターン前に両方のスケーターが同じレベルにある場合、または追い越そうとするスケーターが明確に前に出しておらず、体やスケートが他のスケーターより完全に前に出していない場合には適用されません。

### 8.5.3. 制裁

審査員の審議の後、次のような措置が取られる場合があります：

- ❖ 何もしない、
- ❖ 関係する競技者の降格、
- ❖ 関係した競技者の失格処分。

レースは、降格や失格のために再スタートされることはありません。競技者は紛争に関与した場合でも、自動的に資格が与えられることはなく、再順位決定後に上位二位以内である場合にのみ昇格資格が適用されます。

### 8.5.4. 降格

不当な接触や妨害は、審査員の判断により降格につながる場合があります。スケーターは、自分が影響を与えた順位の数に応じて降格となります。

### 8.5.5. 失格(DQ)

激しい接触や妨害は、審査員の判断により失格となることがあります。

スピードを上げるためにトラック上の障害物(例:フェンスやコーン)を手で掴むスケーターは失格となります。スケーターがランプの頂上に到達するのが難しい場合は、特別な許可が与えられることもあります。

ショートカットや、審査員がチームリーダー会議で明確に発表した禁止動作を使うと、その選手は走行の失格となります。

### 8.5.6. 完走しなかった(DNF)

#### ❖ タイムトライアル:

ランを完走できなかったスケーターはランク付けされません。

#### ❖ チームクロス&スケートクロスレース:

ヒートを最後までやり遂げられないスケーター。

### 8.5.7. スタートしていない(DNS)

#### ❖ タイムトライアル:

ランをスタートしないスケーターはランク付けされません。

**◆ チームクロス&スケートクロスレース:**

ヒートを始めないスケーター。

**8.5.8. ビデオ監視**

運営組織はコース全体にビデオ監視装置を設置する必要があり、審査員はそれを使って判定を行ったり確認したりすることができます。

**8.6. 公式結果**

主任審査員による審査と承認を経て、大会終了時に公式結果が発表・公開されます。発表された結果は、主任審査員の署名と公開がない限り、公式/最終的なものとはみなされません。

## 9. アンチドーピング規則

ドーピング検査のサンプル採取プロセスおよびラボ分析に関しては、World Skate アンチドーピング規則、World Skate テスト配分計画 (TDP)、WADA コード、および国際的な検査・調査基準 (ISTI) が遵守され、競技特有の分析に関する技術文書 (TDSSA) の要件が組み込まれます。

## 10. 緊急対策

会場関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トラックやランプの構造上の問題、または潜在的な構造的リスク</li> <li>● 競技場滑走面の変化</li> <li>● 観客の行動による運営上の問題</li> <li>● 一般的な安全・保安上の問題</li> <li>● 停電</li> <li>● 選手・関係者の輸送に大幅な混乱</li> <li>● 必要でない限り、スケジュールの変更によって練習や競技のヒートが午後 10 時以降に開始されることは避けるべきです。</li> </ul>
天候に関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強風によりパフォーマンスが影響を受ける</li> <li>● トラックやランプは、降雨量に関係なく、雨で濡れることがよくあります</li> <li>● トラック上またはその近くで雷が発生する可能性が高い</li> <li>● 空気の質、低温、または激しい暑さは、アスリートにとって潜在的な健康被害をもたらします</li> <li>● 地方当局によって発表された自然災害やその他の不可抗力に関する警報</li> </ul>
スポーツ用技術機器に関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計時システムで重大な障害が発生しました</li> <li>● 競技中のトラック上での選手の重大事故</li> </ul>

### 10.1. 緊急事態の原因

### 10.2. 緊急事態における競技形式

天候やその他の外的条件により、予定されていた競技形式の実施が不可能な場合、技術代表は、競技ディレクターと相談のうえ、代替の競技形式を適用することを選択することがあります。予備的な競技形式の適用は、影響を受ける競技フェーズの開始の少なくとも 1 時間前までに発表され、詳細に定義されなければなりません。

遅延	<p>フェーズが予定通りに開始されず、同じ競技日の現在のセグメント内で開始する必要がある場合、遅延が発生する可能性があります。</p> <p>新たな正確な開始時刻は不明です。全選手は会場エリアで待機してください。</p> <p>遅延が現在の競技日を超える場合は、ステータスが再スケジュールまたは取消しに変更されます。</p>
延期	<p>あるフェーズは予定通り開始されず、同じ大会当日の後半のセグメントに延期されました。</p> <p>新しい日程と開始時間はまだ不明ですが、できるだけ早く発表・公表される予定です。</p> <p>延期できない場合は、その後スケジュール変更または取消しに変更されます。</p> <p>延期されたフェーズが現在の競技日以内に再開できず、新しい日程と開始時間が不明な場合、ステータスは再スケジュールまたは取消しに変更されます。</p>
再スケジュール	<p>予定通りに開始できなかったフェーズは、現在の大会日以外の後の日や時間枠に再スケジュールされました。</p> <p>新しい日程と開始時間は既に知られており、公表されています。すべての選手には新しいスケジュールが通知されます。</p> <p>延期されたフェーズが再開できず、新しい日程や時間が設定できない場合、その状態は取消しに変更されます。</p>
取消し	<p>競技スケジュール内の利用可能な時間内に再スケジュールできないイベントフェーズ(天候予備日も含む)は取消しされます。</p> <p>その場合、主任審査員はイベントの緊急対応プロトコルの手順に従い、結果の検証と発表の可否を判断しなければなりません。</p>

### 10.3. イベントスケジュールに関する状況

## 11. 懲戒処分とクレーム

### 11.1. 懲戒委員会

ワーキンググループが主管するすべての競技会において、懲戒委員会はワーキンググループメンバーによって構成される。委員会には少なくとも3名の出席者が必要である。懲戒委員会を構成する委員が1名または2名のみの場合、参加国の公式代表の中からワーキンググループメンバーによって選出された2名目または3名目の委員が委員会に加わる。ワーキンググループメンバーがいない国際競技会においては、組織委員会が参加国の代表者から3名の代表者で構成される懲戒委員会を構成する。懲戒委員会による不服申し立ての決定は最終的なものである。

### 11.2. フェアプレー

すべてのスケーターは公平かつ熱意を持ってレースに参加しなければなりません。否定的な態度や明らかな能力の欠如を示す者は競技から除外されることがあります。

### 11.3. 攻撃性

主任審査員は、スポーツ違反が懲戒違反であるかどうかを、それが自発的か非自発的かを考慮して判断する責任がある。

### 11.4. 連携の反則

あるスケーターが自分のチームメイトに勝たせるためにミスをしたとき:

- ❖ 違反をしたスケーターは失格となり、ワーキンググループによってすべての世界選手権大会から除外されることがあります。
- ❖ その過失で利益を得たスケーターはランクが下がることもあります。

### 11.5. 審査員に対する不正行為

競技前、競技中、または競技後に、スケーターや他の代表団のメンバーによるいかなる違反行為や暴力の影響を受けた審査員団のメンバーは、直ちに主任審査員に通知することができ、主任審査員は懲戒委員会に申し立てるものとする。公式競技中に影響を受けた WORLD SKATE の役員も、懲戒委員会に申し立てる権限を有する。

### 11.6. 懲戒手続き

主任審査員は、懲戒違反があった場合に懲戒委員会に報告する責任があります。懲戒違反を行ったスケーター、コーチ、または代表者は、誰であれ懲戒委員会によって処分されます。

ワーキンググループのメンバーは、懲戒違反を発見した場合、懲戒委員会に訴える権限を有します。

## 11.7. 懲戒委員会の進捗状況

スケーターまたは公式代表団のメンバーが懲戒違反を犯した場合、彼は懲戒委員会に召喚されます。この者は懲戒委員会の前に出席することができ、代表団の公式メンバーが同席することも可能です。責められている事実は委員会の議長によって本人に提示されます。その後、スケーターまたは代表団の公式メンバーは弁明の機会を持つことができます。

## 11.8. 懲戒処分

懲戒委員会が採用できる懲戒処分は以下の通りです：

- ❖ 競技からの除外
- ❖ 出場停止期間

非常に重大な違反の場合、競技者または公式代表団のメンバーは、全ての競技から懲戒委員会によって排除されることがあります。排除の場合、認定カードは取り上げられます。懲戒委員会は、最長で12か月までの期間の出場停止措置を採用する最終的な権限を有します。

## 11.9. クレーム

ワーキンググループは、制裁に関する審査を除く一般規則の適用に関連する請求についての第一審機関として機能します。請求が有効であるかどうかを評価し、有効であれば公式な回答を提供する責任があります。

### 11.9.1. クレームの手続き

各代表団は競技中にクレームを提出する権利を有します。クレームは書面で文書化され、その理由を明示し、ワーキンググループまたは主任審査員に提出されなければなりません。

代表者がクレームを提出することを決定した場合、関係するレースの終了後最大5分以内に、その意向を主任審査員に通知し、対応する料金を支払わなければなりません。

その後、代表者は追加の10分間で書面によるクレームをワーキンググループまたは主任審査員に提出します。ワーキンググループに提出された請求には100米ドルの手数料が付されなければなりません。この手数料は、請求が認められた場合のみ返金されます。

クレームは、付属書1に記載された公式フォームで記入し、WORLD SKATE(英語)の公用語で書かれなければなりません。また、公式代表者の署名も必要です。

請求に関する決定は、アナウンサーを通じて参加国の公式代表者に伝えなければなりません。

## 12. 付属書 & 関連文書

### 12.1. クレーム公式フォーム

1. Claimant Information:

- Delegation Name: \_\_\_\_\_
- Official Delegate Name: \_\_\_\_\_
- Competition Category: \_\_\_\_\_

2. Claim Details:


3. Claim Submission Timeline

- Time to notify the Head Judge \_\_\_\_\_
- Time of Official Submission: \_\_\_\_\_

4. Claim Fee:

- Amount Paid: 100 US \$
- Deposit Confirmation:

5. Signature: I, the undersigned, declare that the information provided is accurate and that I understand the claim procedure outlined in the competition rules.

- Official Delegate Name: \_\_\_\_\_
- Signature: \_\_\_\_\_
- Date: \_\_\_\_\_

6. Decision of the Working Group or the Head Judge:  
(To be filled by the Working Group or the Head Judge after evaluation)

- Claim Decision:  Approved  Denied

Signature of Head Judge/Working Group Representative:

\_\_\_\_\_

Date: \_\_\_\_\_

## 12.2. 脳震盪プロトコル

### 12.2.1. 概要

脳震盪は、頭部への打撃や、力が頭部に伝わる他の部位への衝撃によって引き起こされる脳の損傷です。これは脳の構造ではなく機能に影響を与えるため、X線、CT、MRIでは確認できません。そのため、損傷がどのように発生したか、また選手の行動がどう変化しているかを評価することで認識する必要があります。

脳震盪を起こしたアスリートのうち、意識を失うのは約10%にすぎません。症状はすぐに現れる場合もあれば、数時間から数日かけて現れることもあります。脳震盪は、子どもや若いアスリートではより深刻で、回復にも時間がかかります。

アスリート、コーチ、大会運営者、保護者、そしてスポーツに関わるすべての人は、競技中およびその後脳震盪を適切に認識し、対処する方法を知っておく必要があります。

### 12.2.2. 脳震盪を起こしながらイベントを続けた場合の結果

最初の脳震盪が回復する前に二度目またはそれ以降の脳震盪が起こると、より深刻な損傷のリスクが大きくなります。これにより、長期的または場合によっては永久的な障害が生じる可能性があります。

選手が脳震盪の状態でも競技を続けたり練習をしたりすると、反応時間や判断力、バランスに影響が出ます。これにより転倒しやすくなり、さらに脳震盪や筋骨格の怪我のリスクが高まります。

**脳震盪が疑われるすべてのアスリートは、練習や試合から外されなければなりません。**この判断は、アスリートが大丈夫だと言ったり、外部からの圧力に影響されたりするべきではありません。

ワールドスケートは、各大会において**脳震盪コーディネーター**を任命します。この人物は、選手が競技から退くことを確実にし、適切に経過を監視する責任を負います。

### 12.2.3. 脳震盪の認識

アスリートが以下に衝突する時に注意してください：

- 別のアスリート
- 機材
- 地面

事故の目撃者に尋ねたり、事故の映像を確認したりすることは、脳震盪の可能性を評価する上で非常に役立ちます。

#### 12.2.3.1. 視覚的サイン

- フィールド上で身動きせずに横たわっている

- 頭を打った後、ゆっくり立ち上がる
- 混乱している、または質問に迅速かつ適切に答えられない
- 反応しても、虚ろな目つきやぼんやりした視線をしている
- バランスや協調運動に問題がある(例:つまずき、ふらつき)
- 顔や頭に目に見えるケガがある

#### 12.2.3.2. 症状

- 頭痛
- 頭に圧迫感を感じる
- バランスの問題
- 吐き気や嘔吐
- 眠気やめまい
- 視界がぼやけている
- 光や騒音に対する感受性
- 攻撃的だったり、普段よりイライラしやすいこと
- 「おかしい」と感じる
- 脳が「ゼリーのよう」「霧の中にいる」ように感じます
- 集中力や記憶の困難
- 不安や緊張を感じている
- 気だるい感じ

#### 12.2.3.3. 記憶力テスト

これらの質問を使って脳震盪を確認することができます。競技スケーター向けに適宜調整して使用してください。

- 今日はどの会場にいるの？
- 現在、どの競技が進行中ですか？
- 今は何曜日ですか？
- 今日の日付は？
- 今何時？

これらの質問のいずれかに正しく答えられない場合、脳震盪の可能性があり、選手は競技から退くべきです。

#### 12.2.3.4. 赤信号(より深刻な怪我の兆候)

これらの兆候のいずれかが見られる場合、アスリートは会場、救急外来、または地元の医療機関で医療専門家による緊急の評価を受ける必要があります。

- 首の痛みや圧痛
- 複視

- 腕や脚の脱力感やしびれ
- 激しいまたは悪化する頭痛
- 発作またはけいれん
- 意識の悪化
- 嘔吐
- 不安感の増加、苛立ち、または攻撃性

どのような脳震盪の初期対応でも、競技場から選手を移動させる前に、基本的な応急処置のルール(気道、呼吸、循環、脊椎の固定)に従う必要があります。

#### 12.2.4. 脳震盪の管理

脳震盪が疑われるアスリートは以下のことを行うべきです:

- 基本的な応急処置の後は直ちに競技から外されること。
- 最初は、少なくとも 2 時間は一人にしないでください。
- お酒を飲まない;
- アスピリン、イブプロフェン、その他の NSAID を服用しないこと;
- CBD や THC などの娯楽用ドラッグを使用しないこと;
- 自分だけで帰宅させないこと;
- 自動車を運転しないこと;
- 適切な医療評価のために紹介されるべきです。

**免責事項**

この文書は、ワールドスケートの独占的な知的財産です。公開されているものではありませんが、事前の書面による同意なしに、全部または一部を改変、複製、配布することは禁止されています。ワールドスケートは、本書に含まれる情報の誤用や誤解釈に関して一切の責任を負わず、適切な裁判所において必要な法的手段を講じる権利を留保します。

## ルール変更チャート

項目	従来	新規
1.2.1/1.2.2 予選と基準	個人タイムトライアルは、ヒート編成の基準として使用できます。	個人タイムトライアルまたはウインプールシステムを、ヒート編成の基準として使用することができます。
2.1 会則	スケートクロスワーキンググループ (SXWG)はスケートクロスマネージャーに委ねられており、任命された各大陸に最大1名のメンバーと連携して活動を調整します。 執行部は、総会間の行動と管理について WORLD SKATE スポーツ部門に直接責任を負います。	スケートクロスワーキンググループは WORLD SKATE の権限の下で運営されています。 ワーキンググループマネージャーが率い、任命メンバーと活動を調整します。メンバー数は WORLD SKATE がマネージャーと合意の上で決定します。 ワーキンググループメンバーのすべての任命および解任は、WORLD SKATE による最終的な検証の対象となります。マネージャーはグループの行動と運営についてスポーツ部門に直接責任を負います。
2.2 任務	該当なし	該当なし
2.3 詳細な役割と責任	該当なし	該当なし
3.5 競技会関係者	該当なし	該当なし
3.6 国際審査員	該当なし	該当なし
3.6.6 審査員	該当なし	該当なし
3.7 公式司会者	(定義なし)	公式アナウンサー: (アナウンス、プロトコル、および作業部会との連絡に関する詳細な職務。)
3.8 レースディレクター	(定義なし)	レースディレクター: (安全性、技術的な課題、主催者/作業グループ/主任審査員との連絡、コース最終確認に関する詳細な業務。)
3.9トラックオープナー	(定義なし)	トラックオープナー: (初期安全チェック、スケートでのトラックテスト、レースディレクターへのフィードバックの提供など、詳細な業務)

4. 国際的な選手	カテゴリー: ワールドおよび国際大会向けの詳細な年齢カテゴリー (U9、U11、U13、U16、U19、シニア)。	カテゴリー: 本記事から完全に削除された項目。
4.1.3 服装	(同等のものはない)	安全と服装:(許容される服装に関する新しい規則と、スケート技術の不足や安全でない行動による競技禁止の明確な権限。)
4.3 用具 / Section 6.6 装備	第 6.6 節「用具」(詳細度は低め)	
5. 世界選手権	WORLD SKATE 公認の国際大会	世界選手権
5.1 一般情報	スケートクロス世界選手権は 1 大会のみで構成されます。スケートクロス世界選手権は年に一度だけ開催されます。	ワールドスケートゲームズ期間中は、2 年に 1 回だけスケートクロス世界選手権が開催されます。
5.2 場所の要件	(定義なし)	場所の要件: 公共の視認性やメディア利用を最大化するため、屋外の市中心部の環境を希望。
5.5 カテゴリー	カテゴリー(OLD):ジュニア(15-18 歳)およびシニア(19+)。チームクロス: オープン(15+)。	カテゴリー(新規):ジュニア U19 女子・男子、シニア女子・男子(スケートクロスおよびチームクロス両方)。
5.6 審査員	審査員構成:主審、副主審、計算機審判などの一般的な要件。	審査員構成:7~10 人必要 審査員(少なくとも 5 名は国際的な審査員認定)。トラックオープナーとコースディレクターの役割を統合します。
5.7 大会スケジュール	(定義なし)	競技スケジュール:詳細な固定 5 日間スケジュールで、屋外イベント用のオプションの予備日(6 日目)があります。
5.8 予選の形式	(定義なし)	予選形式: 世界選手権では、予選形式はタイムトライアルです。
5.9 表彰式	最終ランキングではシニアとジュニアの各カテゴリーの結果が示されます。	受賞:上位 3 名にメダルが授与されます。トップ 8 のスケーターには証明書と賞品が授与されます。

6. ワールドカップの大会と世界ランキング	ワールドカップと世界ランキング:外部文書への参照(例:スケートクロス - ワールドカップ規定 - 2025 年)。	ワールドカップ大会と世界ランキング: 日付を含まない外部文書(例:スケートクロス - ワールドカップ規則)への参照。
7. 技術要件	該当なし	該当なし
8.2.1.4 呼び出し	(別のセクションで明確に定義されていない)	不在(DNS)の選手および出場はしたが走ることができない選手(2回目の走行のみ使用)のルールを正式化します。新しいタイブレーク:同点の場合、両方の走行を使用したスケーターがもう一方より上位にランクされます。
8.2.1.8 ゴールライン	もしスケーターが体から落ちてゴールラインを通過した場合、審査員はその選手をランの失格と判定することがあります。	新規:最後のランジ時の膝パッドのサポートに関して許容範囲が認められます。
8.2.1.10 天候の管理:	(定義なし)	タイムトライアルが初回の走行の前後、または終了後に中止された場合、国際ランキングを代替手段として、決勝で結果やグループを作成する詳細な手順。
8.2.2 ウィンプー ル(新規)	(大会の形式はまだ定義されていない)	3人から4人のスケーターグループを対象とした新しいマルチラウンドのポイント制競技システムの詳細なルール。
8.3.2 レース予 選手続き	タイムトライアルの結果を指す。出場者数は主審が決定します。	予選の結果を指します。主任審査員は、特別な状況下で予選後に予選通過者の数を変更する権限を持っています。
8.3.3 レースの 形式	ヒート構成のためのリファレンス・タイム トライアルの結果。	参考文献 予選の結果。
8.3.10 最終ラン キング	第5位から第8位(決定勝がない場合) および第9位から第16位の詳細な順 位規則。タイムトライアルの順位を同点 決定の基準として使用します。	詳細な優先ルールは維持されていますが、今後は同点の場合に予選ランクを一貫して使用します。

8.3.10 最終ランキング	大会中止の場合の特別ルール:一部中止の場合、最終ラウンドの成績が最終成績となります。決勝開始前に大会が中止になった場合は、タイムトライアルの結果に基づいてポイントが付与されません。	大会中止の場合の特別ルール:新しい詳細な二部構成のルール:1)最後に完了したラウンドの結果に基づく。2)そのラウンドを通過した参加者は、予選ランキングに基づいて順位付けされる。
8.3.10 最終ランキング	資格を持たないスケーター…タイムトライアルの順位に応じてランク付けされます。	資格を持たないスケーター…予選ランキングに従って順位付けされます。
8.4.1 チーム編成	全メンバーがタイムトライアルに参加している必要があります。	すべてのメンバーは予選に参加している必要があります。新規メンバーは(特に指定がない限り)同じカテゴリーに属すること。
8.4.1.1 世界選手権 & 大陸選手権	該当なし	該当なし
8.4.2 レース予選手順	タイムトライアルの結果(2つの自己ベストタイムを合計)を使用 これを唯一の出場基準としています。	予選結果の利用を正式にし、計算には2つの異なる形式を導入します:タイムトライアル(2つのベストタイムの合計)またはウィンプール(2つのベストスコアの合計)。
8.4.5 スタートゲートの順番	スケーターは赤か青で選びます。	チームは赤または黄のビブ、緑または青のビブで選びます。
8.4.6 交換の管理	(代替に関する具体的な項目はありません)チームが3人のスケーターで構成されている場合、各レースの前に誰が出場するかを決めます。	開始時にはチームメンバー2名が必須であることを明確にしています。2人出場できない場合はDNSとなり、競技から失格となります。
8.4.8 不正スタート	2回目のフライングで、2位のチームが失格となる。	ルールはセクション 6.3.7 と同じですが、各チームにつき1回のフライングスタートが許可されるという特定の規定があります。
8.4.11 最終ランキング	進出できなかったチームの順位決定やタイブレークにタイムトライアルのランキングを使用します。	常に予選ランクをタイブレーク/ランキングに使用します。

8.4.11 最終ランキング	大会中止時の特別ルール:直近ラウンドの結果の使用について曖昧な言及。	大会中止時の特別ルール:中止に関する拡張かつ詳細な二部構成ルール:1) 確立された手続きで順位付けされた進出不可チーム。2) 予選順位による進出チーム。
10.1 緊急事態の原因	(定義なし)	会場、天候、機器などの外部リスク要因、特に厳格なスケジュール制限(午後 10 時)や特定の健康・安全上の危険について詳述します。
10.2 緊急事態における競技形式	(定義なし)	厳しい条件下で技術代表が代替の競技形式を適用できる(1 時間前に通知しなければならない)。
10.3 イベントスケジュールに関する状況	(定義なし)	イベントのステータスに関する用語を定義し標準化します:遅延、延期、再スケジュール、取り消し。
12.2 脳震盪 プロトコル	(プロトコル全体が定義されていない)	認知、即時除去、管理、脳震盪コーディネーターの任命に関する詳細な脳震盪プロトコル。



MAISON DU SPORT INTERNATIONAL  
AV. DE RHODANIE, 54  
1007, LAUSANNE  
SWITZERLAND

PHONE: + 41 216 011877

[WWW.WORLDSKATE.ORG](http://WWW.WORLDSKATE.ORG)  
[SECRETARIAT@WORLDSKATE.ORG](mailto:SECRETARIAT@WORLDSKATE.ORG)  
[INFO@WORLDSKATE.ORG](mailto:INFO@WORLDSKATE.ORG)